

兵庫県立はりま姫路総合医療センター
「はり姫」の現状と
フルオープンに向けた準備状況

兵庫県立はりま姫路総合医療センター
木下芳一

兵庫県立はりま姫路総合医療センター「はり姫」



はりま姫路総合医療センター

1. 原則かかりつけ医機能を持たず**高度専門医療**をおこなう
大学附属病院にあるほぼすべての診療科を設置
2. **救命救急医療**をおこなう
三次救命救急センター、循環器ホットライン、脳卒中ホットラインを持つ
3. **地域支援病院、へき地支援拠点病院として 地域医療を支援する**
周辺僻地病院への医師研修、支援機能を持つ
遠隔診療サポート機能(放射線、病理)を計画
4. 他の医療機関との連携
地域医療連携課、患者支援センター(PFM)、回復期・慢性期機能は持たない
一般的な検診センター機能は持たない
5. **若手医療従事者の教育、研修**
臨床研修センター、高規格のシュミレーター設置、シュミレーターの改良
シュミレーター教育の改革、総合内科・総合外科の設置
研修医の定員増、基幹型・連携型専門医育成プログラムの実施
自病院の職員を養成するのではなく、地域で働く医療人を養成する
6. 獨協学園、兵庫県立大学、神戸大学と共同の**臨床研究の実施**
研究部の充実
研究費の獲得支援

兵庫県立はりま姫路総合医療センター 「はり姫」の重要ミッション

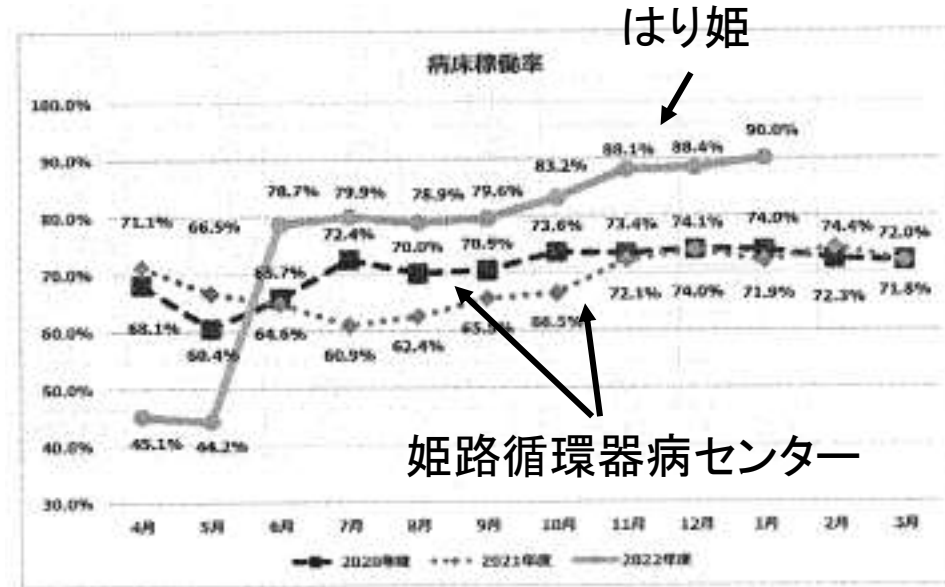
1. 救命救急医療
2. 高度専門医療
3. 医療人材育成
4. 臨床研究

緊急度判定結果及び緊急度別搬送状況



高度専門医療の現状

入院患者 12月病床稼働率 88.4%
 (平均在院日数 12.1日)
 外来初診患者数 12月データ 2256人
 1日平均外来患者数 12月 952人
 手術数 12月データ 1か月 629件
 カテーテル・内視鏡治療 12月データ 245件



血管造影ハイブリッド手術室
 稼働 1か月50件程度
 CTナビゲーションハイブリッド手術室
 稼働 整形外科、脳神経外科中心

手術支援ロボット 稼働 (泌尿器、消化器:稼働、呼吸器:2023年度稼働予定)

「はり姫」のセンター

糖尿病・内分泌センター
心臓血管センター
脳卒中センター
救命救急センター
認知症疾患医療センター
臨床研修センター

患者支援センター
整形・形成外傷センター
リウマチセンター
IBDセンター
(含む 好酸球性消化管疾患)

腫瘍センター
頭頸部がん治療センター
中耳サージセンター
高度低侵襲治療センター
(ロボット手術、新規低侵襲手術)
緩和ケアセンター

脳血管内治療センター
超音波センター
消化器センター
内視鏡センター
呼吸器センター
国際診療センター

人材育成の現状

研修医プログラム

定員を2022年度の年間8名から2023年度は14名に増員(4名は神戸大学附属病院から)

2023年度:神戸大学附属病院のたすき掛けプログラムで5人受け入れ

2023年度1年目研修医は19名に

他病院研修医の受け入れ(宍粟総合病院、赤穂中央病院など多数)

宍粟総合病院へは研修医、専攻医の指導医を派遣)

研修終了後の進路(製鉄記念広畑病院プログラム)

2020年研修修了者 全体7名 県内残留4名(うち播磨姫路医療圏1名) 県外流出3名

2021年研修修了者 全体7名 県内残留6名(うち播磨姫路医療圏4名) 県外流出1名

2022年研修修了者 全体8名 県内残留8名(うち播磨姫路医療圏4名) 県外流出0名

専門医養成基幹プログラム

内科専門医 定員 年間15名 2023年度は6名決定 さらなる広報、総合内科強化の必要性

外科専門医 2025年開始に向けて調整、準備中

救急専門医 定員 年間4名 2023年度は6名応募 4名決定 (2024年より増員検討中)

総合診療専門医 定員 年間2名 2023年開始 1名決定

専門医養成連携プログラム

全診療科で神戸大学附属病院の基幹プログラムに連携参加

内科専門医養成では播磨姫路医療圏の病院の基幹プログラムに連携参加

生涯教育

はり姫高機能シミュレータ医療研修講座の開講

神戸大学基礎医学系講座との連携: 専攻医の教育への基礎医学知識の取り入れ

神戸大学連携大学院 循環器内科 心臓血管外科

学生教育

神戸大学、兵庫医科大学、岡山大学 学生実習、各大学の臨床教授、准教授、講師を受託多数

全国医科大学、大学医学部 学生見学に対応

看護学生実習、看護大学・専門学校の嘱託講師受託

救急救命士実習、薬学部学生実習、技師学校実習、などに対応

臨床研究の現状

兵庫県立大学との連携協力の推進に関する包括連携協定の締結

共同研究の活性化

先端医療工学研究所に研究サロン 学術交流

研究に関するセミナー開催

生物統計、研究費獲得、シーズの説明

研究費獲得(2023年度からの文部科学研究費獲得)

成果発表支援(APDW、等)

論文発表支援制度

文部・厚生労働科学研究費等取得支援

姫路市、獨協学園、兵庫県立大学とのシュミレーター開発・改良

神戸大学医学研究科 医療創成工学専攻との連携を予定

臨床研究： 研究専任の常勤事務職員の配置

治験(Phase 2、3)： CRCは委託(EP総合)

循環器内科、認知症疾患医療センター、消化器内科、 など

一般診療では対応できない病態、病状の治療が一部可能

フルオープンに向けて

2023年4月1日から 736床運営（現在640床運営）

医師約30名を含む250名程度の医療従事者の増員
（医師数は約260名になります。技師、薬剤師などは
新人に加えて他の県立病院からの異動を含めて）

確保済み

モニター類を含む病棟増加に伴う医療機器 購入済み

4台目のMRIの年内稼働予定

フルオープン、職員増で期待されること

1. 救急重症病床からの一般病床へのドレナージをスムーズにして、重症系ユニットの運用を効率化し重症救急患者の応需率を高める
2. 高度専門医療の受け入れ数増加
3. 専攻医の受け入れ増加に伴う専門教育実績の向上